国際政治学

講義8 戦争のパズル ~戦争の定義~

早稲田大学 政治経済学術院 栗崎周平

なぜ戦争なのか?

- "War! What is it good for?"
 - "Absolutely nothing?" https://www.youtube.com/watch?v=mn91L9goKf0 (The Temptations, Edwin Starr, and Bruce Springsteen)
- 人類の歴史で最悪の事象の一つ
 - 20世紀: "戦死の世紀"
 - 400万人以上の戦死
 - 数千万人の民間人が被害
- 国際政治学における最も根源的な問題
 - ツキデデスの『戦史』: 記録に残る最古の戦争原因説明
 - 現代の国際政治のあり様は戦争の影で形成

戦争とは何か?

カール・フォン・クラウゼヴィッツ (Carl von Clausewitz)

【戦争についての二つの定義】

- 戦争とは、他の異なる手段を用いた、政治過程の延長
- 戦争は、相手(敵)に当事者の意思を受け入れされる ための、暴力行為である

戦争とは何か?

【戦争の目的と手段】

- 戦争は政治目的のための手段
- 戦争は武力を用いた政治行為
 - (c.f. 投票という政治行為)
- 戦争の合理性の根拠を付与

戦争とは何か?

【戦争の目的と手段】

- 戦争は政治目的のための手段
- 戦争は武力を用いた政治行為
 - (c.f. 投票という政治行為)
- 戦争の合理性の根拠を付与

【政治の失敗としての戦争】

- 1. 通常の政治過程(=外交)による合意形成の失敗
- 2. 係争当事者の少なくとも一方が当該の政治目的 を断念しないとき
 - ⇒ 相手(敵)に合意を迫る手段(政治行為)

「政治の失敗」としての戦争

【クラウゼヴィッツ定義の含意】

- 1. 外交は「交渉テーブル」における紛争の政治解決
- 2. 戦争は「戦場という交渉の場」における紛争の政治解決

「政治の失敗」としての戦争

【クラウゼヴィッツ定義の含意】

- 1. 外交は「交渉テーブル」における紛争の政治解決
- 2. 戦争は「戦場という交渉の場」における紛争の政治 解決

【戦争原因の説明】

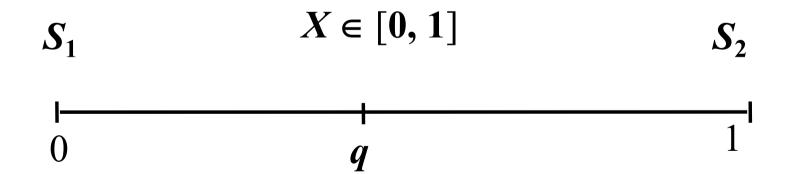
- 戦争の原因を考える一つめのステップは、オプション1からオプション2への移行の原因を考えること、と言える
- ただし、外交決着(1)の実現には双方の合意が必要だが、戦場(2)への移行は、一方的に決定できる。

国際政治学

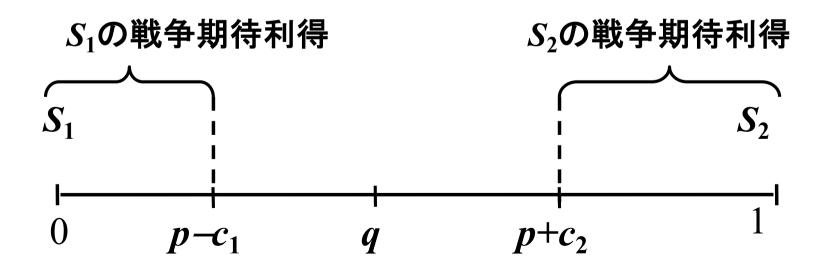
講義7-2 戦争のパズル ~国際紛争のモデル~

> 早稲田大学 政治経済学術院 栗崎周平

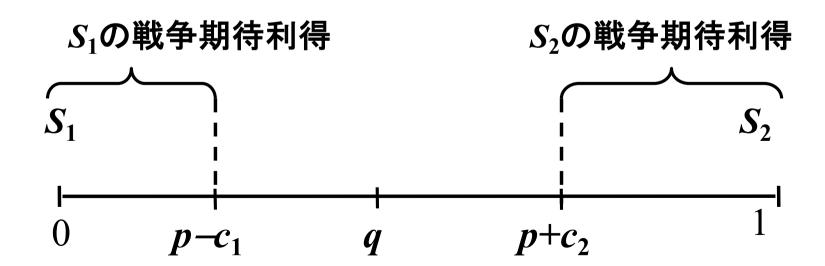
- S₁とS₂が国境線の変更を巡り対立
- 領土を区間 *X* ∈ [0,1] と表す
- S₁は現在の国境 q より右側の領土支配: 利得 = q
- S₂はqの左側全域を領有: 現状利得= 1 q



- 戦争という最終的な帰結(=Outside Option)を想定
 - 政治の延長(クラウゼヴィッツ)
 - 武力行使の可能性(リアリズム)
- 「開戦」決定にあたっての、「戦争」オプションの評価



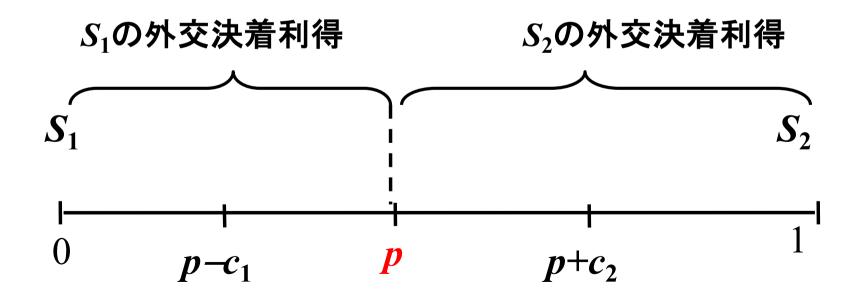
- S₁の戦争オプションの期待利得: p×1-c₁
- S₂の戦争オプションの期待利得: (1-p)×1-c₂
- p は5₁ が勝つ確率(or 戦後の新しい領土配分)
- c_iはS_iの戦争コスト(or 戦争コストに耐える政治意思)



外交交渉で、戦争の結果をシミュレート:

S₁の利得: **p**

S₂の利得: 1-p



【紛争の政治決着の期待値】 戦争を通して決着 外交を通して決着

S_1	$p-c_1$	p
S_2	$1-p-c_2$	1-p

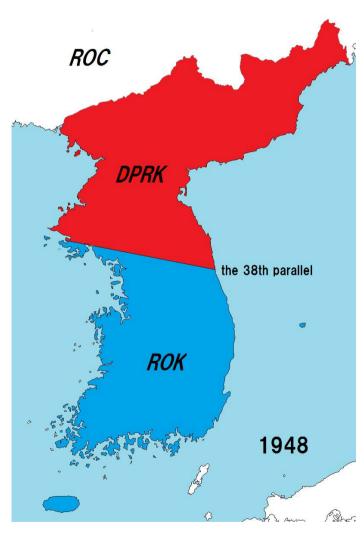
【観察1】戦争はコストの掛かる政治過程

戦争は、S₁とS₂にとって損(コストがかかる)

 S_1 の損失は $c_1 > 0$

 S_2 の損失は $c_2 > 0$

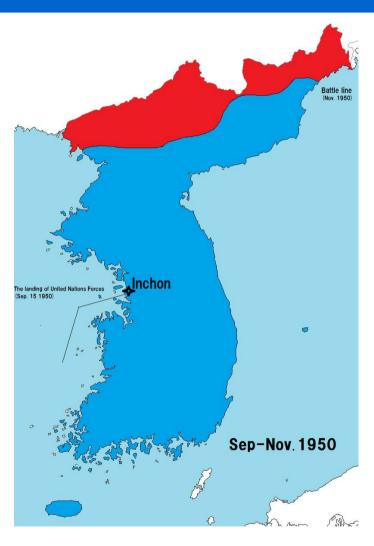
 $S_1 \geq S_2$ の間の社会的な損失は $c_1 + c_2 > 0$



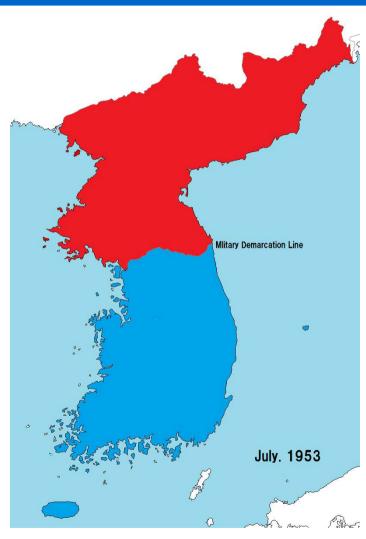
出典:「CraftMap-日本・世界の白地図- Jhttp://www.craftmap.box-i.net/ 筆者加工



出典:「CraftMap-日本・世界の白地図- Jhttp://www.craftmap.box-i.net/ 筆者加工



出典:「CraftMap-日本・世界の白地図- Jhttp://www.craftmap.box-i.net/ 筆者加工



出典:「CraftMap-日本・世界の白地図- 」http://www.craftmap.box-i.net/ 筆者加工

国際政治学

講義7-3 戦争のパズル ~平和解決の条件~

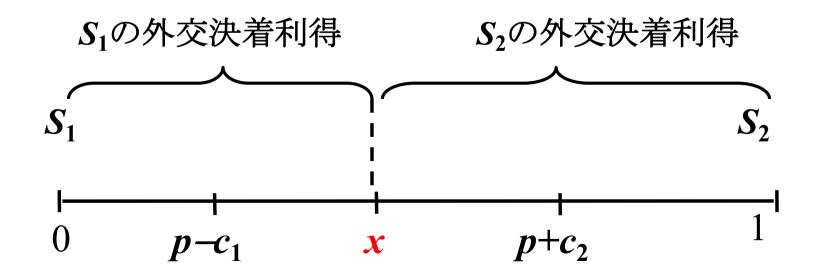
> 早稲田大学 政治経済学術院 栗崎周平

・ 戦争コストと国際紛争の平和解決の条件

- 戦争コストと国際紛争の平和解決の条件
- 外交で政治解決をxとおく

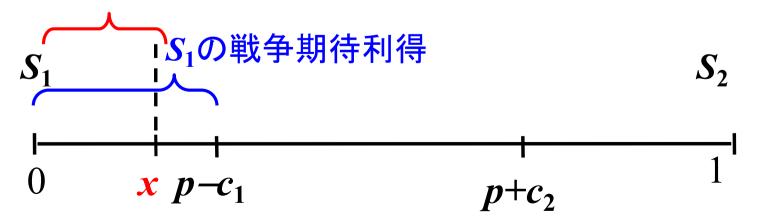
S₁の外交決着の利得: **X**

 S_2 の外交決着の利得: 1-x



 S_1 S_2 $X のとき 戦争を選好 外交を選好 <math>x <math>1 - x > 1 - p - c_2$ $x \in [p - c_1, p + c_2]$ のとき 外交を選好 外交を選好 $x > p + c_2$ のとき 外交を選好 戦争を選好

S₁の外交決着利得

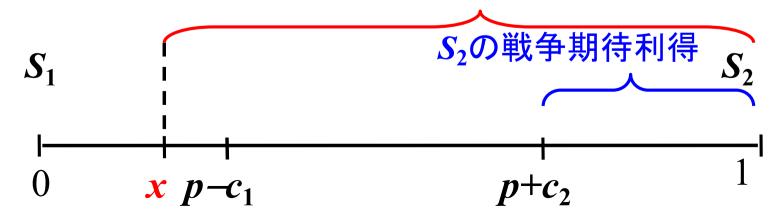


20



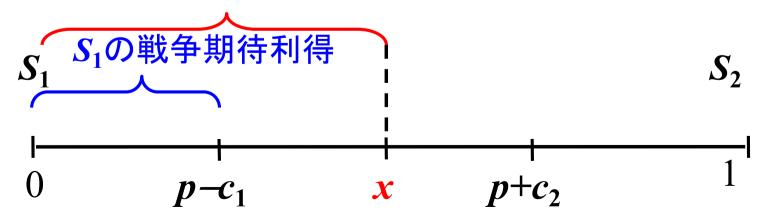
S_2 の外交決着利得

21



	$\boldsymbol{S_1}$	\mathcal{S}_{2}
$x のとき$	戦争を選好	外交を選好
$x \in [p-c_1, p+c_2]$ のとき	外交を選好	外交を選好
	$x > p - c_1$	$1 - x > 1 - p - c_2$
$x > p + c_2$ のとき	外交を選好	戦争を選好

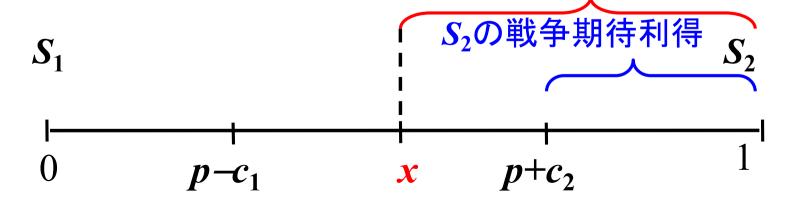
S_1 の外交決着利得



22

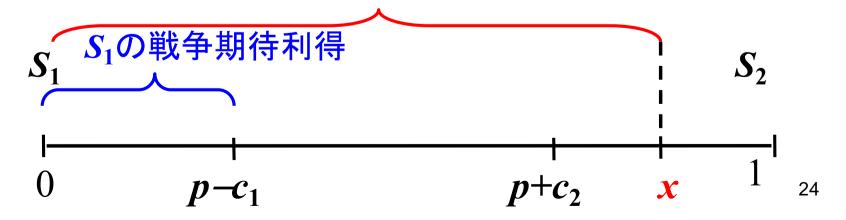


S_2 の外交決着利得



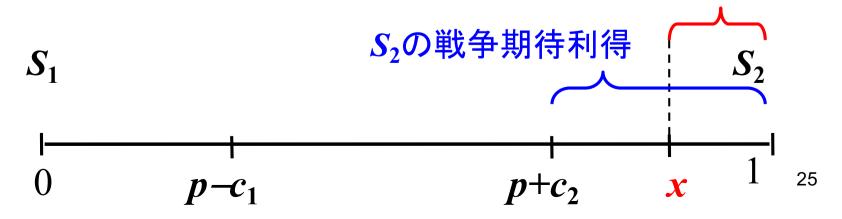


S_1 の外交決着利得

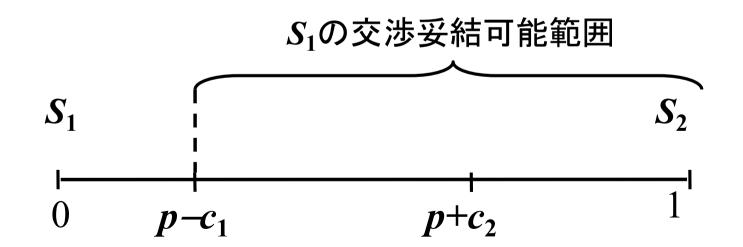


	$\boldsymbol{S_1}$	S_2
$x のとき$	戦争を選好	外交を選好
$x\in [p-c_1,p+c_2]$ のとき	外交を選好	外交を選好
$x > p + c_2$ のとき	外交を選好	戦争を選好
	$x > p - c_1$	$1 - x < 1 - p - c_2$

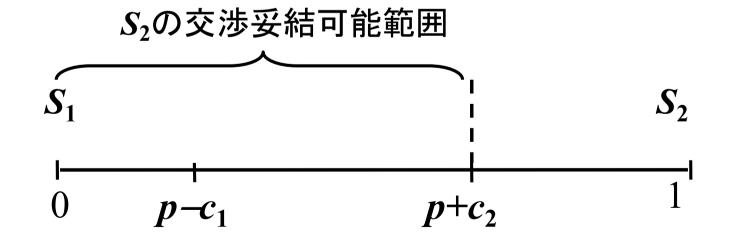
S_2 の外交決着利得



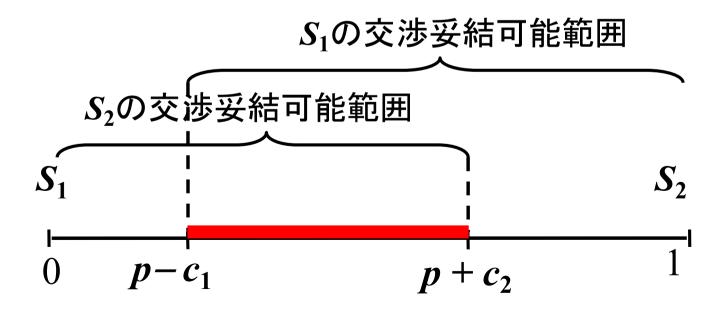
S_1 にとっての妥結可能範囲	$x \ge p - c_1$
S_2 にとっての妥結可能範囲	$1 - x \ge 1 - p - c_2$
	$\Rightarrow x \leq p + c_2$
双方にとっての妥結可能範囲	$x \ge p - c_1$ かつ $x \le p + c_2$



S_1 にとっての妥結可能範囲	$x \ge p - c_1$
S_2 にとっての妥結可能範囲	$1 - x \ge 1 - p - c_2$
	$\Rightarrow x \leq p + c_2$
双方にとっての妥結可能範囲	$x \ge p - c_1$ かつ $x \le p + c_2$



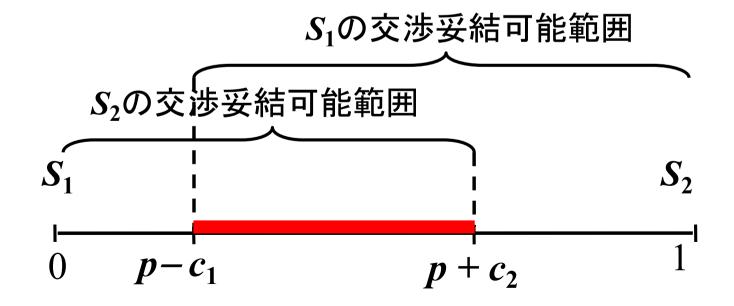
S_1 にとっての妥結可能範囲	$x \ge p - c_1$
S_2 にとっての妥結可能範囲	$1 - x \ge 1 - p - c_2$
	$\Rightarrow x \leq p + c_2$
双方にとっての妥結可能範囲	$x \ge p - c_1$ かつ $x \le p + c_2$



【観察2】

国際紛争における、戦争回避のための平和解決の存在外交による妥結は、双方によって戦争よりも合理的な場合

$$x \in [p-c_1, p+c_2]$$



国際政治学

講義7-4 戦争のパズル ~「非効率性」パズル~

> 早稲田大学 政治経済学術院 栗崎周平

【観察2】

国際紛争における、戦争回避のための平和解決の存在外交による妥結は、双方によって戦争よりも合理的な場合 $x \in [p-c_1, p+c_2]$

【問題】戦争回避のための平和解決解が存在する条件?

【観察2】

国際紛争における、戦争回避のための平和解決の存在外交による妥結は、双方によって戦争よりも合理的な場合 $x \in [p-c_1, p+c_2]$

【問題】 戦争回避のための平和解決解が存在する条件?

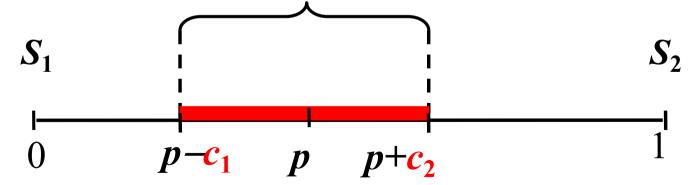
【答え】戦争の「定義」より、平和解は「常に存在」する

- 戦争は事後的にパレート非最適である: $c_1 + c_2 > 0$
- つまり、少なくとも $c_1>0$ あるいは $c_2>0$

【観察2a】

戦争コストは、国際紛争の平和解決のための必要条件

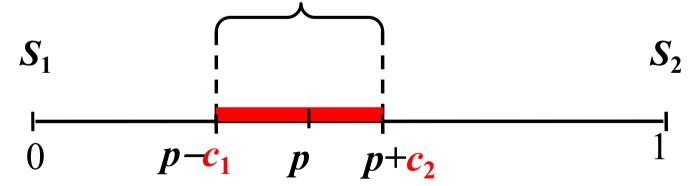
- 戦争コストが $c_1 + c_2 \rightarrow 0$ だと平和解決は存在しない
- つまり、 $c_1 \rightarrow 0$ あるいは $c_2 \rightarrow 0$ だと平和解決は不可能



【観察2a】

戦争コストは、国際紛争の平和解決のための必要条件

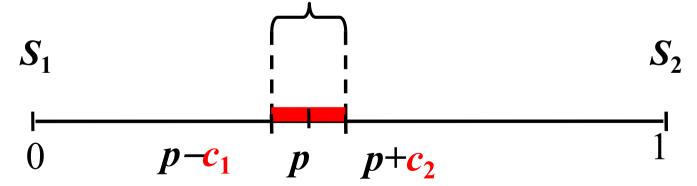
- 戦争コストが $c_1 + c_2 \rightarrow 0$ だと平和解決は存在しない
- つまり、 $c_1 \rightarrow 0$ あるいは $c_2 \rightarrow 0$ だと平和解決は不可能



【観察2a】

戦争コストは、国際紛争の平和解決のための必要条件

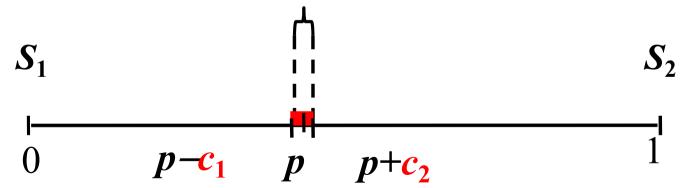
- 戦争コストが $c_1 + c_2 \rightarrow 0$ だと平和解決は存在しない
- つまり、 $c_1 \rightarrow 0$ あるいは $c_2 \rightarrow 0$ だと平和解決は不可能



【観察2a】

戦争コストは、国際紛争の平和解決のための必要条件

- 戦争コストが $c_1 + c_2 \rightarrow 0$ だと平和解決は存在しない
- つまり、 $c_1 \rightarrow 0$ あるいは $c_2 \rightarrow 0$ だと平和解決は不可能



戦争のパズル

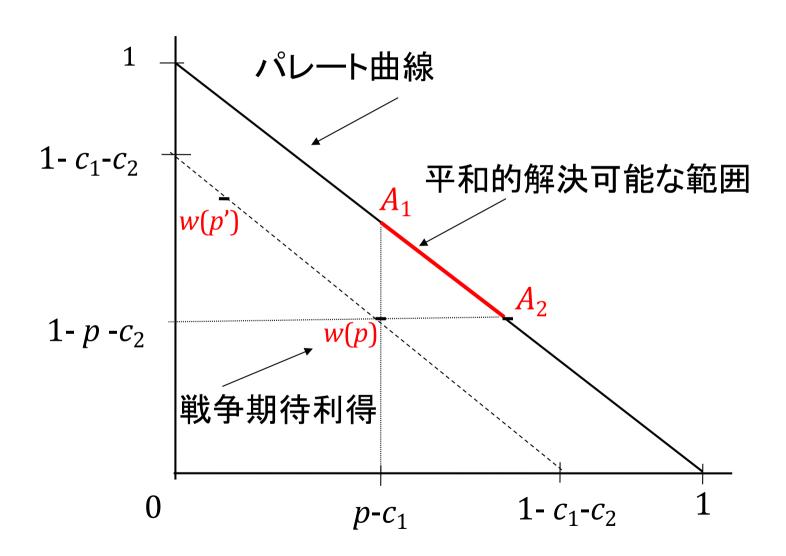
【戦争のパズル】

- 戦争には事後的にコストがかかる限りにおいて、双方ともに合意可能な「平和解」は必ず存在
 - 戦争は事後的に非効率 (←戦争コスト)
 - だからこそ平和的解決は常に可能
- なぜ、効率的な平和解決ではなく、非効率な戦争をわざわ ざ選択するのか?

【戦争原因の説明】

- なぜ、原則的に可能な平和解決の選択に失敗したのか?
- なぜ、どのような「間違い」を犯して、事後的なコストのかかる 戦争を回避することが出来なかったのか?

戦争のパズル



パスワード

inefficiency